

2025年 謹んで新年のごあいさつを申し上げます

日本共産党

東京都北区議員団



# 今年も要求実現へ全力!

## みなさんの暮らしの声をお寄せください



山田区長(中央)に新年度予算要望書を提出する(左から)そねはじめ都議、せいの恵子前区議、北区議員団  
=2024年11月22日 北区役所

昨年の総選挙では、与党を過半数割れに追い込み、企業・団体献金全面禁止、選択的夫婦別姓制度の導入など、国民の要求実現に道を開く可能性が生まれています。

長引く物価高騰の下、党区議団は国保・介護保険料の負担軽減、非正規職員や介護・保育などケア従事者の賃金引き上げ、中小業者への直接支援、区独自の給付型奨学金導入など教育の無償化、家賃助成制度の創設など、暮らしを支える区政をめざします。

今年都議選、参議院選挙でも、区民要求の実現へ全力をつくします。

マイナ保険証がないと病院にかかれ  
ないの? いま持っている紙の保  
険証はいつまで使えるのですか。

### 紙の保険証残して

新規発行はされなくなりましたが、紙の健康保険証は有効期限まで使えます。マイナ保険証がなくても、有効期限が切れる前に区から保険証の代わりとなる「資格確認書」が届き、医療が受けられます。党区議団は、紙の保険証を残し、マイナ保険証と併用できるよう国への要請を重ねて求めています。

物価高騰のなか、年を越せるのか  
心配でした。昨年うちに給付金  
が支給され、本当に助かりました。

### 給付金を1日も早く

現在支給されている物価高騰支援給付金。党区議団は年内支給や区独自の対象拡大を求めました。区は昨年中に支給を開始するための補正予算を組み、非課税世帯に加え均等割のみ課税世帯まで対象を拡げました。引き続き、中低所得の課税世帯や家計急変世帯などへ給付金の対象拡大を求めています。

施設利用料を値上げしないで。  
経済的に苦しい学生や若者への  
割引料金制度を作りたい。

### 区民負担増は1億円

区は新年度から、北とぴあ、滝野川会館、赤羽会館、体育館やスポーツ施設などの使用料値上げを提案。党区議団は、「受益者負担」で区民に約1億円の負担増を押し付ける値上げ条例に反対しました。241億円に積み上がった財政調整基金を活用すれば、値上げのすえおきや若者割引料金の導入も十分可能です。

## 赤羽駅東口 まちづくり 再開発推進は時期尚早

11月に開かれた第8回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会で、事務局である区は、再開発街区と赤羽小学校敷地、駅前広場を「重点区域」と位置づけ、「大きくくり化」してまちづくりを進めることを提案(右図参照)。しかし、同会会長は「検討会で一度も議論していない大街区化を、いま決めてしまってよいものか」と委員に問いました。党区議団は区議会本会議で、「『大きくくり化』はタワマン誘致の再開発推進に舵を切るもの。検討会での合意もないまま方針化するのは時期尚早であり、撤回を求める」と厳しく批判しました。地元住民団体からは、タワマン誘致でなく修復型のまちづくりを求める3484筆分の署名が区長に提出されています。



- グループワークのとりまとめから、取り組むべき課題等がより集中し、課題解決によりその効果が大きいと考えられる区域を「重点区域」として位置付けます。
- 先に触れた「まちづくりの目標」や「基本方針」を実現するためには、それぞれの街区で取り組みを進めるよりも、赤羽小学校や東口駅前広場を含めた区域全体で取り組みを進めることが、より効果的であると言えます。
- これまでの検討を踏まえ、「重点区域」の範囲は、現時点で市街地再開発事業の動きがある各街区、赤羽小学校及び東口駅前広場を含む範囲とします。
- この「重点区域」においては、事業区域の大きくくり化を念頭に、公共施設整備を含めた、短期的かつ一体的なまちづくりを図ることとし、具体的な整備イメージや実現化方策等は、今後策定する(仮称)赤羽駅周辺まちづくり整備計画で明らかにしていきます。



# 女性差別撤廃条約 選択議定書の批准を

日本における 2024 年のジェンダーギャップ指数は 146 か国中 118 位。特に政治・経済分野での男女格差が大きくなっています。格差解消を目的に国連で女性差別撤廃条約が発効し、日本はこれを批准しました。しかし、この条約の実効性を高めるためには「個人通報制度」と「調査制度」を定めた女性差別撤廃条約選択議定書の批准が必要です。

区議会第 4 定例会の代表質問で、ながいともこ区議は、同議定書の批准を国に働きかけるよう求めましたが、北区は「国の動向を注視する」などと答弁しました。また、今定例会には、区民から同趣旨の陳情が提出され、区議会で審議が行われました。

## 自公の不同意で継続に 企画総務委で陳情審査

日本共産党区議団と立憲クラブは採択を求めましたが、自民、公明会派は、「皇室典範の見直しなど厳しい内容もある」、「批准した場合の影響を吟味する必要がある」、「北区は国の動向を注視するという立場なので」などの理由から継続審査を主張。採択が過半数に達しなかったために継続審査となりました。維新は委員会を欠席しました。

共産	立憲	公明	自民 新時代	自民	維新
採択	採択	継続	継続	継続	欠席

## 宇都宮 ゆり 健康福祉委員会 都市ブランド推進特別委員会

昨年 4 月に稲田小、私の母校である神谷小、神谷中学校が小中一貫校「都の北学園」に生まれ変わり開校、「新神谷公園」は 2026 年開園にむけ準備が進められ変化に富んだ 1 年でした。今年もみなさんから寄せられる声を区議会に届けるよう、気持ち新たに頑張ります。

☎090-1406-7995



## ながいともこ 文教委員会 防災対策特別委員会

コミュニティバス浮間ルートに続き、区は赤羽西地域にコミュニティバスの新規ルートを計画しています。いま、2026 年度の試験運行を目指してルートなどの運行計画案が検討されています。住民が使いやすいコミュニティバスになるようみなさんと頑張ります。

☎080-4429-6338



## 野口 将人 企画総務委員会 地域開発特別委員会

十条の再開発ビル内の公益施設、ジェイトエルの運営が始まりました。一方で上十条図書館は閉館とされました。ラウンジはにぎわっているようですが、図書館の利用者層とは違うように思います。図書館は図書館として残すべきだったのではないのでしょうか。

☎070-5658-0603



## のの山 けん 健康福祉委員会 地域開発特別委員会

赤羽まちづくりで区は、「耐震・耐火など早期の課題解決のため『大きくくり化』が必要」と言いますが、タワマン誘致の再開発は完成までに長期間を要し、早期解決には向きません。個別・共同建替による修復型まちづくりこそ、赤羽に最もふさわしいまちづくりのあり方です。

☎090-2156-3510



## 本田 正則 建設委員会 都市ブランド推進特別委員会

今年は元気に、これまで以上に年金や賃上げ運動に力を入れたいと思います。そして若い人たちと一緒に、改めて田端銀座やアザリエ通り、さつき通り、霜降銀座、西ヶ原銀座の各商店街の活性化や住まいの確保などのまちづくりと一緒に考えていきたいと思っています。

☎090-9240-8066



## 山崎 たい子 区民生活委員会 防災対策特別委員会

韓国大統領発令の「戒厳令」に市民や議会が瞬時に撤回の行動をおこしたことに、民主主義を守りぬく強い意志と力を感じました。植民地支配や戦後の軍事政権も経ながら、今日まで日常不断に培ってきた力であり、若い世代にも引き継がれていることにリスペクト、自由な世界を希求します。

☎090-2160-1292



なんでも

生活相談

暮らし・医療・介護・仕事・住宅・生活保護・保育・学校のことなど、まずはお電話下さい。

あなたの暮らし支えます

お困りごとあればためらわずご相談を

日本共産党北区議員団 電話 3908-7144 FAX 5993-0280

